

岡山県の地震

令和7年(2025年)5月

目 次

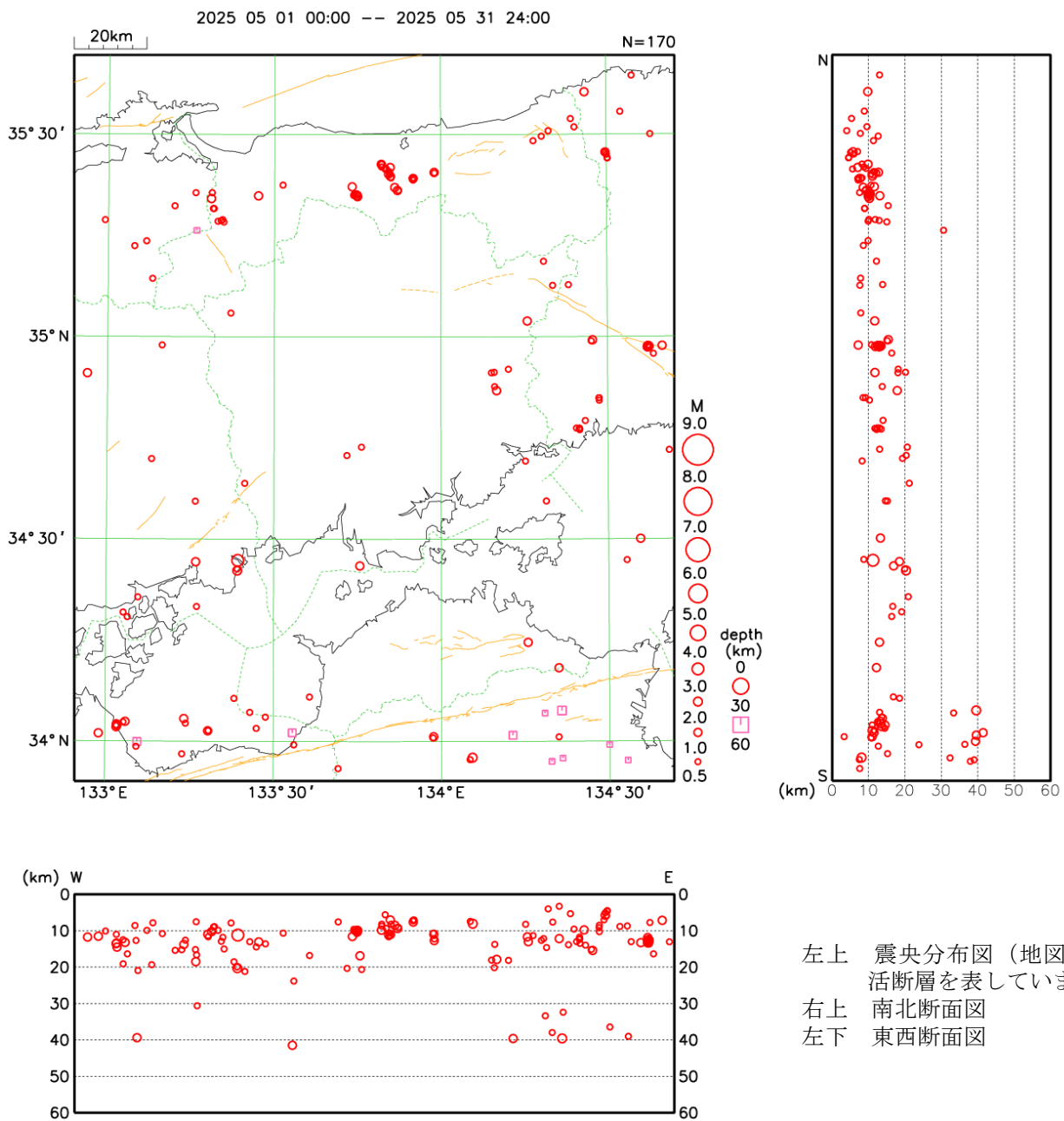
○岡山県及びその周辺の地震活動（5月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 該当なし
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 該当なし
○地震防災メモ No.233	
津波を知る	… 2

- 「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
 - この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
 - 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(5月)

震央分布図及び断面図



概況

5月の概況

- ・ 5月に震度1以上の揺れが観測された、上図の範囲内の地震は0回（前月：0回）でした。
- ・ 5月に岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は0回（前月：0回）でした。

津波を知る

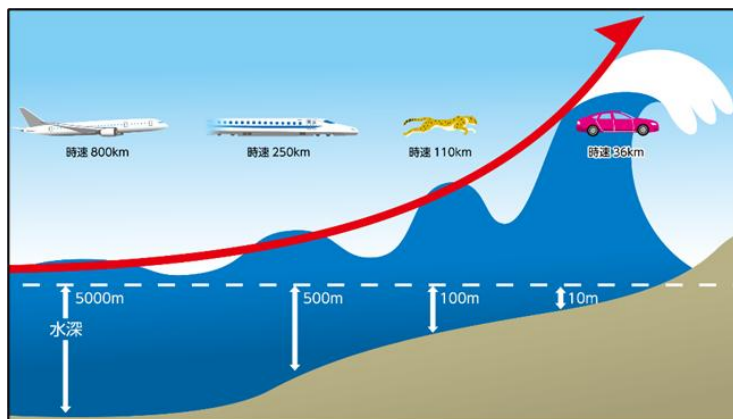
○地震により津波が発生する仕組み



海底で大きな地震が発生すると断層運動により海底が隆起もしくは沈降します(左図①)。これに伴って海底から海面までの海水が一気に変動し(左図②)、大きな波となって四方八方に伝播する(左図③④)のが津波です。

このように津波は海水全体が動くエネルギーの大きな波のため、高さ0.2~0.3m程度の高さの津波でも人は速い流れに巻き込まれてしまうおそれがあり大変危険です。

○津波の伝わる速さと高さ



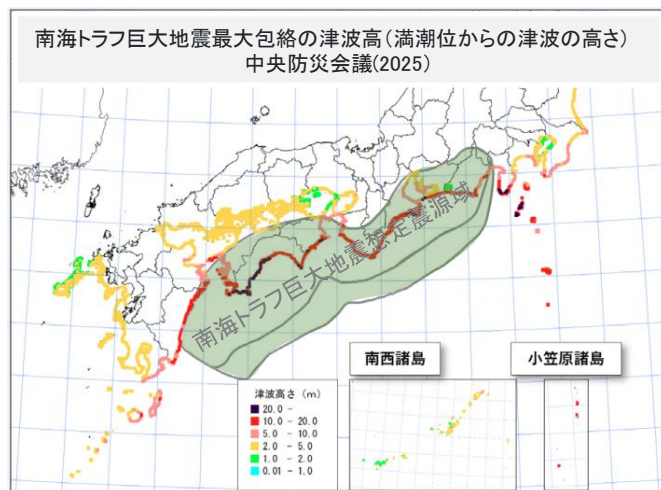
津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合いではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくにつれ、減速した波の前方部に後方部が追いつくことで、波高が高くなります(左図)。

浅いところで遅いといっても、海岸近くで自動車程度の速さがあり、津波を見てから走っても逃げ切れるものではありません。

海岸付近で地震の揺れを感じたら、または、津波警報等が発表されたら、速やかに高台や津波避難ビルなどに避難してください。

○「南海トラフ巨大地震」で想定される津波

政府の中央防災会議は、科学的に想定される最大クラスの南海トラフ地震、いわゆる「南海トラフ巨大地震」が発生した際の被害想定を策定しています。



これによると、南海トラフ巨大地震がひとたび発生すると、関東地方から九州地方にかけての太平洋沿岸の広い地域に10mを超える大津波の襲来が想定されています(左図)。

南海トラフ巨大地震は「遙か太平洋沖で起こる地震なので岡山県に津波の影響は小さい」と誤解されがちですが、海がつながっていれば津波は伝播しますし、南海トラフ巨大地震の想定震源域は巨大で一部が瀬戸内海にも及んでおり、地震発生時には海底が動いて津波の発生源になると考えられます。岡山においても津波への備えは決して怠らぬようにお願いいたします。

(参考) 気象庁：津波発生と伝播のしくみ

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami/generation.html>

気象庁：南海トラフ地震で想定される震度や津波の高さ

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/nteq/assumption.html>